

平成22年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成22年5月18日

I. 概況

1. 売上高総額	1,219億円余
2. 前年同月比	-4.9% (店舗数調整後/26か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-4.7%(87.4%) : 非店頭-6.0%(12.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	14社 27店 (平成22年3月対比±0店)
5. 総店舗面積	934,266㎡ (前年同月比:-3.9%)
6. 総従業員数	21,138人 (前年同月比:+13.2%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 -11.9%、10-12月 -9.9%、11-1月 -8.2%、 12-2月 -6.5%、1-3月 -6.3%、2-4月 -5.4%

[参考] 平成21年4月の売上高増減率は-11.9%

【4月売上の特徴】

- (1) 4月中旬以降の悪天候にもかかわらず、都内では積極的な催事展開が奏功して、入店客数は前年実績を超える店が大半であった。
- (2) 低温多雨の影響で、ブラウス、カットソー、Tシャツ等の軽衣料に動きが見られなかった反面、コート、ジャケット、ブルゾン等の羽織りものが大きく伸びた。
- (3) 富裕層消費の活性化で、都内各店ともに高級時計の伸びが注目されているが、その他プレタポルテ（特選既製服）などにも動きが出始めている。
- (4) 15か月ぶりプラスとなった菓子類好調の背景には、スイーツブームの影響で男性客が増えるなど客層の広がりが出てきたことや、ゴールデン・ウィーク帰省土産の需要が高まったことなどが考えられる。
- (5) 5月前半の状況は、好天に恵まれたGW期間中には多くの店で二桁増を記録するなど、最近にはない活況を見せた。その後やや減速傾向にあるが、中旬までの実績では依然前年をクリアしている店が多い。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見るとの傾向値/前年同月比)
 - ①増加した：6店、②変化なし：5店、③減少した：8店、④不明：3店
- (3) 4月歳時記 (春物商戦、花まつり、昭和の日) の売上 (同上)
 - ①増加した：2店、②変化なし：5店、③減少した：5店、④不明：10店
- (4) 翌月上見通し (回答店舗数で見るとの傾向値)
 - ①増加する：4店、②変化なし：9店、③減少する：6店、④不明：3店

東京地区百貨店 売上高速報 2010年04月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	121,942,496	100.0	-4.9 (-7.6)
紳士服・洋品	9,215,151	7.6	-10.4 (-13.1)
婦人服・洋品	26,048,214	21.4	-11.9 (-14.8)
子供服・洋品	2,760,781	2.3	-7.5 (-8.3)
その他衣料品	2,311,055	1.9	-23.2 (-27.8)
衣 料 品	40,335,201	33.1	-12.0 (-14.9)
身のまわり品	17,328,361	14.2	-5.3 (-10.0)
化粧品	6,826,049	5.6	-1.1 (-1.8)
美術・宝飾・貴金属	6,355,733	5.2	-1.5 (-5.5)
その他雑貨	6,832,233	5.6	-7.3 (-8.2)
雑 貨	20,014,015	16.4	-3.4 (-5.2)
家 具	1,985,571	1.6	-7.8 (-12.8)
家 電	661,382	0.5	10.0 (10.0)
その他家庭用品	5,057,296	4.1	6.8 (3.9)
家 庭 用 品	7,704,249	6.3	2.9 (-0.5)
生 鮮 食 品	4,367,492	3.6	0.6 (-1.1)
菓 子	7,124,433	5.8	1.2 (-0.9)
惣 菜	5,934,009	4.9	-2.3 (-3.8)
その他食料品	8,806,550	7.2	0.2 (-2.6)
食 料 品	26,232,484	21.5	-0.1 (-2.2)
食 堂 喫 茶	3,016,604	2.5	-13.1 (-14.8)
サ ー ビ ス	2,856,194	2.3	23.0 (22.9)
そ の 他	4,455,388	3.7	17.4 (16.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商品券	6,488,810 千円	122.3 (116.6)
従業員数	21,138 人	13.2
店舗面積	934,266 m ²	-3.9

営業日数	30.0 日	前年	30.0 日
------	--------	----	--------

II. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続のプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨と、食料品が-0.1%の微減となった。家電が4か月ぶり、生鮮食品が10か月ぶり、菓子が15か月ぶり、その他食料品が7か月ぶりにプラスとなり、その他家庭用品が2か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-4.9	—	26か月連続マイナス
紳士服・洋品	-10.4	-0.8	25か月連続マイナス
婦人服・洋品	-11.9	-2.7	21か月連続マイナス
子供服・洋品	-7.5	-0.2	20か月連続マイナス
その他衣料品	-23.2	-0.5	24か月連続マイナス
衣料品	-12.0	-4.3	21か月連続マイナス
身のまわり品	-5.3	-0.7	25か月連続マイナス
化粧品	-1.1	-0.1	17か月連続マイナス*
美術・宝飾・貴金属	-1.5	-0.1	3か月連続マイナス*
その他雑貨	-7.3	-0.4	23か月連続マイナス*
雑貨	-3.4	-0.5	24か月連続マイナス
家具	-7.8	-0.1	25か月連続マイナス
家電	10.0	0.0	4か月ぶりプラス
その他家庭用品	6.8	0.3	2か月連続プラス
家庭用品	2.9	0.2	2か月連続プラス
生鮮食品	0.6	0.0	10か月ぶりプラス*
菓子	1.2	0.1	15か月ぶりプラス*
惣菜	-2.3	-0.1	25か月連続マイナス*
その他食料品	0.2	0.0	7か月ぶりプラス*
食料品	-0.1	0.0	19か月連続マイナス
食堂喫茶	-13.1	-0.4	18か月連続マイナス
サービス	23.0	0.4	3か月ぶりプラス
その他	17.4	0.5	4か月ぶりプラス
商品券	122.3	2.8	9か月連続プラス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・西田・佐藤まで

TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>